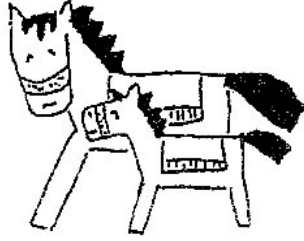


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



29年 10月 NO.275

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
http://oumanooyako.sakura.ne.jp/

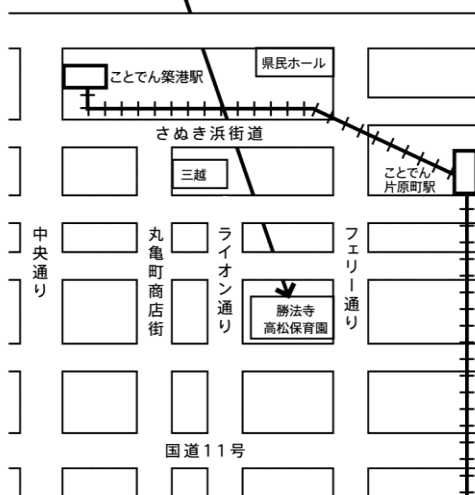
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		10月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
10月 8日	日	運動会においで！ 9：00～13：00	旧新塩屋町小学校にて。 9時～10時半は体育館で乳児～2歳児。 11時～12時半は運動場で 3歳、4歳、5歳、小学生。
10月 13日	土	体験保育 10：00～12：00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
10月 21日	土	体験保育 10：00～12：00	出産予定の方も育児体験に おいで下さい。
10月 21日	土	おとなアート 14：00～16：00	秋の空を描き「ラギング」という方法で 紅葉を表現します。(予約要10/10まで)
10月 24日	火	香川みすゞさんの会 14：00～16：00	英語版の「金子みすゞさんの詩」を 読み、解説もあります。講師は、 高橋みどりさん(英語発音教室)
10月 25日	水	健康・育児相談 11：00～12：00	園医師(小児科医)にゆっくり 相談できます。(予約要)
10月 27日	金	おはなしの会 10：00～11：30	「秋のおはなし届けます！」をテーマに 大型絵本やわらべ唄、ペープサート などあります。親子でおいで下さい。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して
いますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みすゞ童話全集
「空のかあさま・上」より

雲
お山に誰を
みつけたら、
お山へ、
雲はたまたま
はなやかたよ。
お山に誰も
いなかたよ。
雲はひたひた
つまらなそうに、
夕ぞらを、
雲はひとり
飛んでたよ。



当園でも外国の方の入園が増えてきました。主な国は、フィリピン、中国、ネパールです。異国で文化や習慣、言葉、文字、規則などが自国と違う困難さをなんとか乗り越えながら生活していることと思います。今月は、他県での外国の方との色々な取り組みについて、ご紹介します。

①外国人向け子育てサークル（愛知県）

県は今夏、外国人の乳幼児とその保護者を対象とした「多文化子育てサークル」を2カ所開設する。具体的な場所は未定。日本語や日本の習慣を十分理解できないため、地域に溶け込みにくいと感じている母親らは少なくない。孤立しないよう、サークルで友だちの輪を広げてもらう。

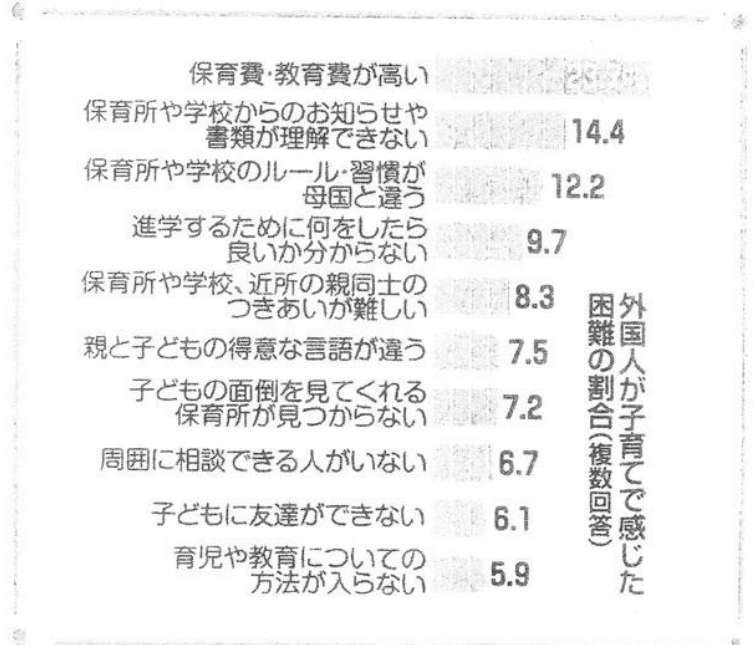
法務省の在留外国人統計によると外国籍の乳幼児（0歳～6歳）は右肩上がりが増えていて。県内には昨年末に1万3,493人おり、2012年末の1万1,425人から18%増えた。

県は昨年、外国人が多く暮らす豊田、豊橋市など16市の外国人8千人（20歳以上）に、郵送やネットでアンケートを実施。

「子育てで困難を感じた経験」を尋ねたところ、複数回答で、14.4%が「保育所や学校からのお知らせや書類を理解できない」、8.3%が「保育所や学校、近所の親同士の付き合いが難しい」、7.2%が「保育所が見つからない」などと悩みを打ち明けた。

県内の公立小中学校に通う外国人は9,249人（14年度）。教員への調

査によると、うち66%の子どもは「日本語の読み書きに問題がある」とされ



ている。県は08年度から、各地の小中学生向け日本語学習教室などを支援。16年度は、教室の運営資金や家賃、送迎バスの運行費などに総額4,000万円を補助した。

県が新たに設ける「多文化子育てサークル」では、日本人スタッフによる絵本の読み聞かせ会や、日本語教室などを開く。小学校入学前の子どもに日本語に触れてもらい、保護者には日本の文化や風習を知ってもらう機会とする。活動に参加しながら、相談できる友人もつくってもらう。

サークルは月1回開催。毎回、親子計20～30人程度の参加を見込む。開設地2カ所は、外国人労働者が多く暮らす地域の公民館や、団地内の集会所などになる見込み。



②外国人ママを孤立させないための相談会（福岡市）

外国人が多く暮らす福岡市東区の香椎浜団地の公民館に、市民有志が異国での出産や子育ての相談に無料で応じる「ベビールームフレンズ」を開設した。毎週1度の相談会には、さまざまな悩みや不安を持つ外国人女性がかかる。隣人を孤立させまいと、支援の輪が少しずつ広がっている。

4月中旬の火曜、頭にスカーフをまとったイスラム系の妊婦2人が香椎浜公民館を訪れた。迎えたのは福岡市の日本語教室「よるとも会」の発起人の女性で、英語を交え、産婦人科の入院申込書の書き方を教える。書類の日本語を一つ一つ説明し、アルファベットの名前をカタカナにした。

開設から3カ月。よるとも会は外国人女性が立ち寄る教会や食料品店、子どもが通う学校などに英語のチラシを配り、周知に努める。

③子育て外国人に通訳ボランティア（札幌市）

札幌市の出資団体、札幌国際プラザは新年度、日本語が十分話せない外国人に対し、子育てや教育分野の公的手続きを支援するため、通訳ボランティ

を派遣する「さっぽろコミュニティ通訳」事業を始める。

派遣する場面として、外国人が自分の子どもを通わせている学校の教員とやりとりする際や、保育所の入所手続きをする際などを想定している。国際プラザは登録している外国人ボランティア約 500 人の中から英語と中国語が堪能な 34 人を選び、個人情報保護や行政手続きに関する研修を既に始めている。

札幌市は新年度予算案で異なる国籍の人々や民族が共に暮らす社会をつくる「多文化共生社会推進事業費」として、通訳の研修費など 70 万円を国際プラザへの補助金として計上。



④ブルガが問う社会観（福岡市）

福岡市東区の城浜保育園に給食の時間が来た。肌の色も言葉も違う園児たちが楽しそうに同じ食卓を囲む。メニューはジャガイモのそぼろ煮、みそ汁、まぜご飯。その中に、肉ではなく豆腐を使ったそぼろ煮を手にする子どもがいた。

園児 228 人のうち 4 割が外国人。給食はイスラム教の戒律に従ったハラール食に対応する。大鍋など調理道具も 2 つずつそろえ、肉や調味料のエキスを混ぜないようにしている。

イスラム教の女性が全身を覆う衣装「ブルガ」。フランスは 2011 年、ブルカなどの着用を公共の場で禁止する法律を施行した。

外国人を支援する「多文化共生ネット・九州」コーディネーターは、フランス留学の経験がある。「ブルカについて意見が割れるのはよく分かる」というが、イスラム教徒をひとまとめに危険視する風潮が強まっていることは、やはり気にかかるという。

まだ扉の向こうにいる隣人たちが「日本はどんな社会を目指すのですか」と問うている。